

ごてんば社協だより

ひだまり

令和3年6月17日に当市初の
市民後見人が誕生しました



市民後見人とは…

親族以外の市民による後見人のことです。

弁護士などの専門職後見人と同様に家庭裁判所が選任し、判断能力が十分でない方の金銭管理や日常生活における契約などを代理して行います。

市民後見人は、市民感覚をいかしたきめ細かな後見活動ができ、地域における支え合い活動に主体的に参画する人材として期待されています。



ひだまり No.301 もくじ

- 市民後見人特集…………… 1～2
- フードバンク協議会の取組
夏休み中高生福祉体験報告…………… 3
- 災害ボランティア活動用資機材整備
JA御殿場ファーマーズ野菜の寄贈… 4
- 移動支援特集…………… 5
- あったかサポート特集…………… 6～8
- 地域支援員さん大募集
ふれあい広場中止のお知らせ…………… 8



市民後見人 米山 喜與志さん
(東山区在住)

民生児童委員の任期の終わりにさしかかった頃。このまま燃え尽き、症候群になるのか、家庭においては粗大ゴミ扱いにされはしないか。ますますフレイル化が進んでしまう、どうしようかと迷っていたところ、「受けてみませんか」と、講座受講のお誘いにより、なんとかなるだろうと臨みました。知り合いも多く50時間を楽しく学ぶことができました。

御殿場市成年後見支援センターでは、複数後見人の一人として、同センターが監督人となりいわば、チームとして支援していくという新しい形を模索していくことになると思います。

市民後見人はまだ発展途上にあると聞いています。

「市民」という専門性をいかし、市民目線で被後見人等の意思を丁寧に聴かせていただきながら、市民だからこそできる支援につなげていきたいと思っています。



市民後見人の声



市民後見人 高山 秀子さん
(二の岡区在住)

私が、後見人の存在を知ったのは、福祉について興味を持ったからです。後見人の制度を知るまでは、漠然と、「自分が自分のことを判断することができなくなったら、どうなるのかなあ」と思っていました。「後見人のお世話にならず、シャキッとして命を閉じる」と言えればいいのですが、私は、いつか判断できなくなる日が来るだろうと思っています。それは、年齢を重ねてからか、病気が事故によってか、近い将来かもしれません。しかし、そんな日を迎えても、後見人制度で見守られることがわかり、今は安心しています。

私が、市民後見人養成講座に応募したのは、一市民の私が、後見人の一員として誰かに安心をもたらすことができるからということと、私が後見人のお世話になる将来に、制度が成熟していることを希望したからです。先月、市民後見人として家庭裁判所から選任していただきました。まだ、わからないことの方が多くです。一市民に任せて大丈夫かと聞かれそうですが、社会福祉協議会の法人後見人と共に複数後見人として活動していきます。また、家庭裁判所の監督を受けますので、ご安心いただけるかと思っています。

昨年からコロナウイルス感染症によって、生活様式が変わり、皆さんの人生の絡みあいや関わりあいで、世の中が構成されていると思い知りました。その時々々の互助という考え方だけではなく、将来にわたって御殿場市が住みよい街になるような、地域社会活動の一役を担う市民後見人制度となるように努力していきます。

御殿場・小山フードバンク協議会×各種企業・団体 | 長期休み応援プロジェクト

「もったいない」食品から「ありがとう」の食品へ

依然として新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、収入の減少や、休業、失業をやむなくしたことで生活に困窮する世帯が増加しています。

こうした状況が続く中、令和3年8月4日（水）、御殿場・小山フードバンク協議会様から本会に、世帯用食糧100箱が寄せられました。

頂いた食糧は、職員の分担により直ちに市内の子育て中の困窮世帯にお届けさせていただきました。

お届けした世帯からは、子供たちが夏休みを迎え、学校給食がない時期の貴重な食糧支援として非常に喜ばれ、大変有意義な福祉活動となりました。

コロナ禍が未だに収束しない中、この活動に賛同する御殿場市・小山町の18企業・団体から1トンにも及ぶたくさんの食料品が持ち寄られ、助け合い、支え合い活動の実践が自発的になされていることに頭が下がります。

改めて市民の皆様の尊い善意に心から敬意を表し、厚くお礼申し上げます。



▲ 贈呈式の一コマ



▲ お米や缶詰、お菓子などのバラエティに富んだ食料品



▲ 御殿場ロータリークラブ様は御殿場コシヒカリ200kgと玉ねぎ200個を提供

8/3.4 (火水)

夏休み中高生福祉体験

地域の困りごとを目を向ける！

次世代を担う中高生22人が、御殿場・小山フードバンク協議会へ寄附された食料品を、困窮世帯、子ども食堂等へお届けするために、仕分け、梱包作業を行いました。更に市内の子ども食堂2か所を訪問し、お弁当作りや、運営する人の想いやこだわりを聴くことで、地域の助け合い活動について理解を深めました。

参加した中高生からは、「視野を広げ、世界中の困っている人たちのことを知り、助けられたらいいなと思います」という声や、「子ども食堂は、子供たちのことを第一に考えてくれていて、地域の温かみや人情を感じました」等の感想が寄せられました。

短時間ではありましたが、中高生にとって、地域の困りごとに目を向け、「福祉」を身近なものとして感じる大変良い機会となったようです。



▲ 最初の任務は段ボール箱の組立て



▲ お菓子を丁寧にラッピング



▲ 市江さん御夫妻から子ども食堂への想いやこだわりを聴きました。



▲ 協力してゼリーづくりにも挑戦！



「災害ボランティア活動用資機材整備」に関する覚書締結式

令和3年7月16日(金)、(福)御殿場市社会福祉協議会と(福)十字の園御殿場十字の園との間で赤い羽根共同募金「災害ボランティア活動用資機材整備」に関する覚書が交わされました。

この覚書は、災害時にボランティアが資機材を使用し、被災者を迅速に支援することができるように、(福)御殿場市社会福祉協議会と収納庫

設置場所を提供する(福)十字の園御殿場十字の園とが互いに連携・協力することを約束するものです。

なお、この資機材は、災害時よりもより、平時には社会福祉協議会が行う災害ボランティア本部運営訓練にも役立てられます。



(資機材収納庫設置場所)
社会福祉法人十字の園
御殿場十字の園
(御殿場市深沢1465番地の1)



J A御殿場ファーマーズ 子ども食堂へ野菜を寄贈

令和3年7月29日(木)、J A御殿場ファーマーズから市内4力所の子ども食堂へ野菜が寄贈されました。

この活動は、J A御殿場ファーマーズ会員が出荷し、営農経済部で検体検査済みの野菜を「子ども食堂で有効活用してほしい」という提案から始まりました。

今回は、夏野菜(ほうれん草、茄子、ネギ、青じそ、トマト、ピーマン、小松菜等)が子ども食堂運営者に手渡されました。

今後は、毎月1回最終木曜日17時に同様の寄贈が行われます。

子ども食堂運営者の感想

☆毎週1回開催しているのでとても助かります。

今後も期待しています。

☆子どもたちに提供する料理のバリエーションが増えます。ありがとうございます。



てとととひろば代表者(左)と



ウエルカムいちえ(左・中央)・ポニー食堂(右)代表者

東山区・二の岡区で移動支援が始まります！

民生委員さんが中心となり始まる移動支援

令和3年7月15日(木)、東山区、二の岡区の移動支援試行運転が実施されました。

この取組は、東山区・二の岡区の民生委員さんが、バス路線が少ないため、高齢者が買い物に苦労しているという声をキャッチしたことから始まりました。

両区の民生委員さんは、この問題を深く受け止め、「買い物支援を始めよう」と話し合いを重ね、移動支援を立ち上げる運びとなりました。

福祉車両は、小規模多機能型居宅介護あさみから借用し、国土交通省認定運転者講習会受講者である、運転ボランティアさんが運転します。

まずは、試行運転を実施し、その後は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、10月から本格稼働を実施する予定となっております。



▶試行前の事前打合せ



あさみの福祉車両



中畑北区 買い物支援プロジェクト

中畑北区では、地域福祉推進事業として、移動手段がなく、買い物に困っている高齢者を対象に、毎月1回、スーパーまで車で送迎し、買い物のお手伝いをしています。送迎車両は毎回社会福祉法人野菊寮からお借りし、運転と付添は地域のボランティアの方々にご協力いただいています。令和元年6月から県のモデル事業として始まった事業ですが、今では地域の温かい高齢者支援事業として、浸透しつつあります。

利用者からは「毎回とても助かっている。月2回になると嬉しい」との声も挙がっており、月2回の実施を目指し、ボランティアさんの募集を随時行っています。



重い荷物を玄関まで

ほつくばら みんなで支える 移動支援プロジェクト

北久原区の免許返納や自家用車を所有しないため移動が困難な高齢者を対象に、地域のボランティアが、社会福祉法人十字の園御殿場十字の園の福祉車用を借用し、買い物支援を実施しています。

毎週木曜日又は6の付く日に実施されています。

このプロジェクトは、県内の先進事例として紹介されています。詳細はYouTube ほつくばら ひまわりを検索！

静岡県社協
YouTube



体温チェックの様子

特集

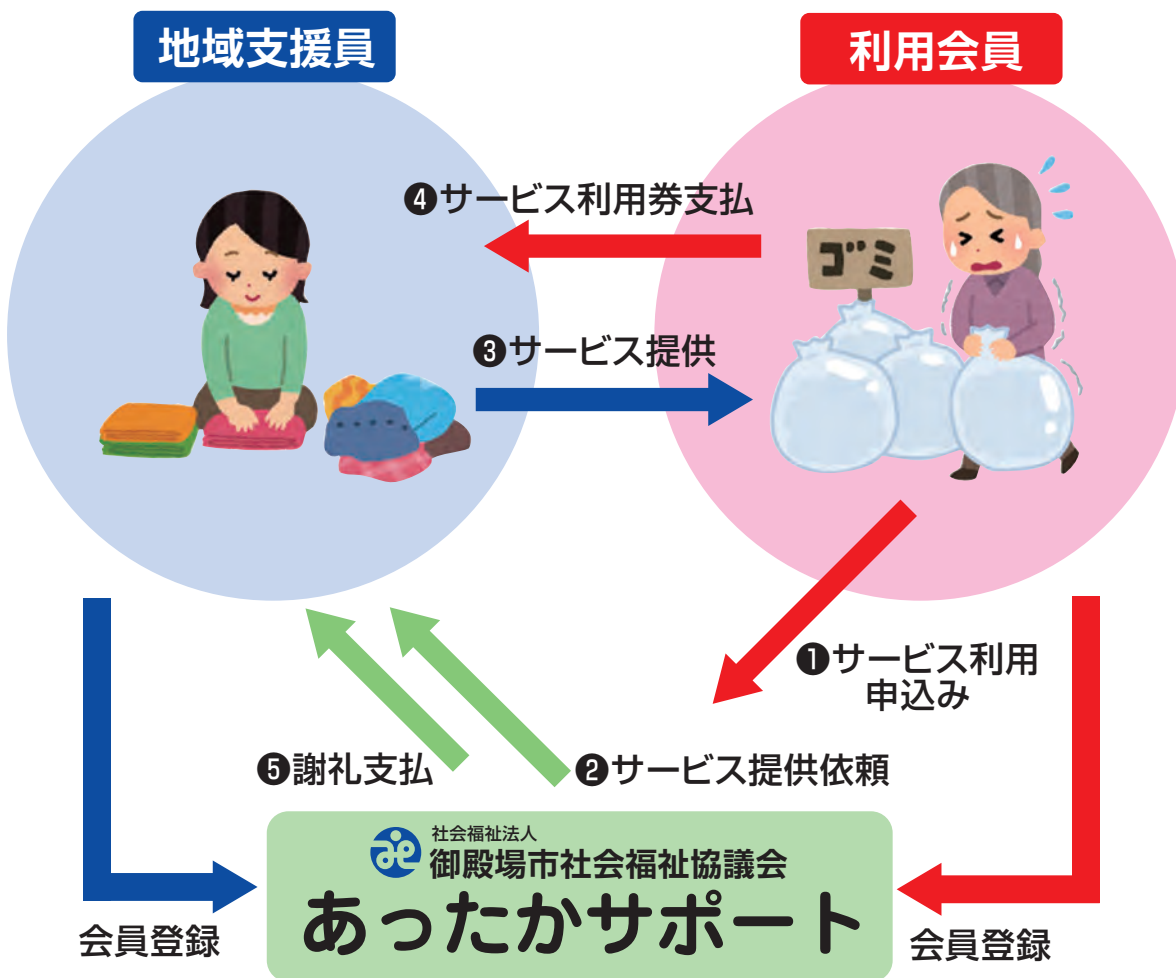
あったかサポート ってなに？



「あったかサポート」とは、御殿場市社会福祉協議会が平成31年4月からスタートした住民参加型の生活支援事業です。

「地域支援員」として御登録いただいた住民の皆さんが、公的なサービスでは対応できない生活上の「ちょっとした困りごと」の解決を支援します。

あったかのしくみ サポート



活動の流れ

地域支援員の活動は、チケット制による「有償ボランティア」です。ボランティアなのに有償?と思う方もいるかもしれませんが、「気兼ねなく手軽に頼みたい」といった住民の皆さんの声からスタートした事業です。有償だからこそ、継続的な切れ目のない支援活動ができる仕組みになっています。

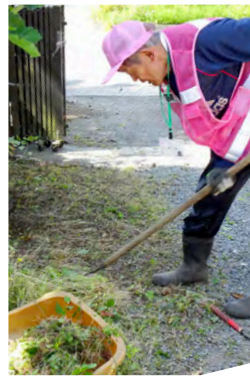
支援報告

地域支援員は、事務局にチケットと活動報告書を提出し、月末に謝礼を受け取ります。



支援

地域支援員が、ちょっとした困りごとを支援します。利用者は支援時間分のチケットを地域支援員へ渡します。



コーディネート

事務局に困りごとを相談。専属のコーディネーターが地域支援員の調整を行い、活動依頼書を発行します。



会員登録

利用希望者は、杜協に連絡し訪問調査を受け、会員登録(年会費**1,000円**)後、事前に利用チケット**15分150円を3,000円分**を購入します。



どんな人が利用しているの？

ちょっとした困りごとを抱えながら、身近に手助けを頼める人がいない方を対象としています。

例えば…

「近くに家族や親族がない…」

「御近所とのつながりがない…」

「頼れる御近所さんはいるけど、いつもお願いするのは気が引けてしまう…」

そんな状態から「孤立」につながってしまう方が増えている時代です。あつたかサポートは、ちょっとした困りごとの支援を通して、地域とのつながりと地域の支え合い活動を再構築することを目的とした事業です。

★令和元年度支援件数…50件

★令和2年度支援件数…88件

「ちょっとした困りごと」って？

介護保険制度や障害者総合支援法など、生活を支える制度は充実してきています。けれど…すべてを制度に頼ることはできません！
例えば…

掃除・ゴミ出し・草取り・買物代行・整理整頓・話し相手・病院付き添いなど…

生活する上で必要なことはたくさんあります。そんな家族や制度だけでは解決できない生活上に潜む困りごとが「ちょっとした困りごと」です。



地域支援員ってどんな人たち？

「地域支援員」は、市内在住の活動に賛同してくださった住民の皆さん(18歳以上)です。

「余裕ができた時間を有効に使いたい」「誰かの役に立ちたい」「社会とつながりたい」という思いから始めました。自分のちよつとしたお手伝いで、困りごとを抱えている方の生活を支えられることに、やりがいを感じていらつしやる方が多く、連絡会やスキルアップ講座を通し、自己研鑽や仲間づくりにもつながっているようです。



地域支援員
橋本保利さん



地域支援員
仲宗根和子さん



地域支援員
土屋ミエさん

地域支援員さん大募集

住民参加型生活支援事業 あったかサポーター養成講座

「住民参加型生活支援」はサービスを利用する人も提供する人も、同じ住民同士です。ちよつとした困りごとを、みんなで助け合っていくという趣旨の下、支援を行う有償のボランティア活動です。現在依頼件数が増加する一方、支援していただく地域支援員さんは不足しているのが現状です。一緒に地域の困りごとの解決に協力してくれる地域支援員さんを募集します。

日時 令和3年10月5日(火) 午前10時から午後3時まで

会場 市民交流センター「ふじざくら」2階第4会議室

対象者 助け合い活動に関心のある市民

内容 傾聴技法・現役支援員からの体験談等

参加費 無料

定員 20名(先着順)

申込み 9月17日(金)までに御連絡をお願いいたします。

有償ボランティア活動

草取り・買物・掃除等

■1時間 **600円** ■15分当たり **150円**

申込み・問合せ
御殿場市社会福祉協議会
電話 **(0550)706801**
FAX **(0550)895501**



「第38回御殿場市ふれあい広場」開催中止のお知らせ

令和3年9月25日(土)に開催を予定しておりました「第38回御殿場市ふれあい広場」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、出店予定団体から多数の懸念する声が寄せられていること、一堂に会して交流するという目的を達成することが極めて困難であることや、参加団体、来場者が健常者だけでなく高齢者、障害者の方が多数となることが予想され、感染リスクが高まる現状を鑑み、参加団体を含む市民の安心、安全を最優先とし、開催を中止させていただくことと決定いたしました。

何卒御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

開催を楽しみにしてくださった皆様には、大変残念なお知らせとなりますが、御理解、御協力いただきますようお願い申し上げます。

